



大中だより

八丈町立大賀郷中学校

令和3年2月19日

<教育目標>

- 進んで学習する人
- 礼儀を大切にする人
- 心身ともに健康な人

「自分の色 ～運動靴に引っかけた夢～」

校長：松岡 健

「どんなにお洒落して着飾っても、靴が奇麗でないとね。人格はそこに現れる。だから、今日の貴方はちょっと・・・。」十数年前、ある友人からこう言われました。続けて、「いい加減に扱っていることがわかる。かかとの部分が・・・。」「靴の奇麗って、汚れがあるとかではないんだよ。」「脱いだ後に、きちんと形を直して置いていないでしょ！」完全に自信喪失です。元々、靴には興味があり、複数のものを、服や目的に合わせて着用するようにしていました。その意識は高かったはずなのです。しばらくの間、落ち込んだ記憶があります。それ以来、出かけるとき、家に戻ったとき、学校で内履きになるとき、運動するためにスニーカーやスパイクを装着するとき、何かと考え、形を整えたり、揃えたりするようになりました。



ところで、令和の大賀郷中学校では、持ち物の決まりの中に、靴のことは以下のように書かれています。

「靴はなるべく運動靴を履くこと。（体育の授業や緊急時の避難の観点から）」
デザインや色についての記述はありませんので、機能を満たせば多くのものが採用されることとなります。私が中学生だった昭和の時代、標準服（制服）や体育着だけでなく、靴やコートも学校指定のものがありませんでした。しかし、靴だけは決まったルールがなく、これだけは「自分の色」を主張できたのです。当時の生意気さを前面に出す表現をするならば、運動靴に自分の夢を重ねていました。残念ながら、人格のことは全く意識がありませんでした。



わが国では、マラソンや駅伝等、靴が話題になるスポーツの中継も増えました。ある大会では、N社のピンク厚底靴が話題となりました。野球やサッカーのプロ選手を見ても、ユニフォームこそ同じものを着用していますが、足下は同じではありません。ここに「その人の色」があるように思えるのです。アスリートでなくとも、買って来たばかりの靴を履く瞬間はまさに「気持ちいい。」の感覚があるでしょう。何か色



合いがおかしかったりすると紐（ひも）を変えてみて、様々なバリエーションを楽しむことができます。令和の時代も靴に「自分の色」が出ているのは変わらない気がしています。

先日、特徴的な赤のスニーカーを履く生徒に問いかけてみました。「大賀郷中学校の色は、赤だね。それを意識しているの?」「そうです。」「赤は、運動するときのエネルギーに繋がる色だという説があるけれど・・・。」「心は燃えています。」「素敵だなあ・・・。」これからも、生徒が保健体育の授業や部活動で外に飛び出していくとき、足下に注目して、「その人の色」を見極めたいと思います。

<校長講話>

1月25日 放送朝礼 「アスリート来校」

砲丸投げの佐藤征平さん、トライアスロンの江田佳子さんをお招きして有意義な交流ができました。お二人ともこれからの選考会をへて、日本代表として東京2020に出場できるかが決まります。彼らの生き方を参考にして、自分たちにもできることを行動に移せたら最高です。

2月15日 放送朝礼 「リオパラリンピックシルバーメダリスト来校」

気づいた人もいるかもしれませんが、鹿沼さんは、右手にも不自由があり、加えて遠くは、ほとんど見えていないのです。それでも我々にプラスのエネルギーを与えてくれました。人のせいにして、モノのせいにして、あきらめている自分があるとすれば何とかしたいものですね。

奇跡です！！すてきなご縁！

昨年12月25日に、全校生徒が医療従事者の方々へお礼のお手紙を書いてくれました。その手紙は、東京都を介して都内の病院に届けられました。偶然にも大賀郷中学校のお手紙は、本校の卒業生がご活躍されている病院に届けられたのです。そのT. Kさんからのお手紙をご紹介します。

八丈町立大賀郷中学校 3年生の皆さんへ

葛飾区にある東部地域病院でコロナ対応をしています。励ましのお手紙届きました。

K. Sさん、Y. Kさん、A. Hさん、Y. Hさん、A. Mさん、K. Kさん、O. Aさん、他無記名の方4名の皆さん、本当にありがとうございます。

皆さんからの言葉で多くの職員が力をもらえました。

私は大賀郷中学校の卒業生でもあり、もと島人です。

大中ではバスケ部に入り、高校ではバスケ部のマネージャーになり看護の道に進もうと決めました。大中での思い出が懐かしいです。

毎年、島に帰っていましたが、去年はコロナの影響で帰省できませんでした。

今年はコロナが落ち着いて、帰れるといいなと思っています。

島でも感染予防が行われていると思いますが、皆さんもマスク着用・手洗いを徹底して気をつけて下さい。中学校生活もあと少しですが、頑張ってくださいね。

私たちも頑張ります！本当にありがとうございました。

東部地域病院 看護師長 T. Kさん (旧姓 菊池)

このお手紙は、朝礼で校長先生によって紹介されました。このお手紙は、3年生にとって自分の生き方を考える一石になったと思います。また、「医療従事者の皆さんと一緒に乗り切るんだ、負けないぞ」と思える大きな力になったことは間違いありません。

道徳教育推進特別授業 講師紹介

島田 旭緒 氏

日本初の、そして唯一の動物専門義肢装具士。ペットなどの動物に義足やコルセットなどの装具を付けて、その生活をより良いものになっている。

○期日 3月15日(月) 11:30~12:20

○内容 「命の授業」



行事から



◆HP「大中日記」毎日更新しています。
日々のタイムリーな話題を載せていきます。

◇オリパラ教育推進特別授業 1月22日(金)

陸上(砲丸投げ) 佐藤 征平選手 アルビレックス新潟 RC 所属

トライアスロン 江田 佳子選手 東京ヴェルディ TT 所属

東京オリンピックの出場を目指す2人のアスリートをお迎えしました。佐藤征平選手には、砲丸投げの投げ方を教えていただきました。江田佳子選手には、トライアスロンという競技について、デモンストレーションをまじえて紹介していただきました。競技用の自転車の軽さに驚きました。



◇道徳授業地区公開講座 1月23日(土)

この3.11で東日本大震災から10年を迎えます。佐藤征平さんは岩手県の陸前高田市出身です。市の職員だったお父様は津波で亡くられています。どん底だった当時の家族の支え(愛)や自らの生き方についてお話いただきました。



◇新入生保護者説明会 2月5日(金)

来年度入学予定の新入生の保護者の皆さまにお集まりいただき、授業見学と入学時まで準備していただくことを中心に説明会を行いました。自転車通学の場合は、ヘルメット着用と保険の加入を義務づけています。



◇パラリンピック教育推進特別授業 2月6日(土)

2016リオパラリンピック自転車競技・銀メダリストの鹿沼由理恵さんを講師にお迎えしました。弱視のうえ左手を切断するというハンデを抱えました。「自分の置かれた状況に対して言い訳をせず、全力で頑張ることの大切さ」をお話いただきました。また、銀メダルに触れさせていただきました。メダルを振ると高い音がしました。



◇2~3月の 予定

PTA運営委員会
3/4 (木)
19:00~
ミーティングルーム

今年度最後の運営委員会になります。役員会および各委員会からの報告と来年度の日程の確認をします。



スクールカウンセラー来校日

2月24日
3月3日、10日
3月17日

相談をご希望の方は、副校長までご連絡下さい。

2月	21日(日)	都立一次入試
	24~26日	学年末考査
	26日(金)	お別れ学習会(桃・桜)
3月	2日(火)	都立一次発表・手続き
	5日(金)	学習発表会リハーサル・鑑賞
	6日(土)	学習発表会
	8日(月)	3年救急救命講習①~③
	11日(木)	3年生を送る会①~③ 八丈太鼓⑤1年 ⑥2年
	12日(金)	卒業式予行③④
	15日(月)	全体道徳・命の授業(動物愛護)
	17日(水)	1・2年保護者会
	18日(木)	卒業式準備
	19日(金)	第67回卒業式
	24日(水)	大掃除
25日(木)	修了式・離任式	



◇保護者・地域の皆様へ お知らせ ◇

卒業式(3/19)

今年度の卒業式も感染症対策を十分に行い、来賓を招きません。卒業生・保護者・教職員と在校生によって、時間を短縮した形で卒業式を挙ります。

芝生と校舎まわりの除草作業

3月13日(土)は中止とします。
☆卒業式間近でもあり、新型コロナウイルス感染症対策として中止にさせていただきます。
※3年生の保護者の皆様、3年間にわたり芝生管理作業にご協力くださいますと誠にありがとうございました。

学習発表会(3/6)

今年度の学習発表会の参観につきましては、新型コロナ感染症対策のため保護者の方のみとさせていただきます。誠に恐縮ですが、地域の皆様にはご理解のほどよろしくお願ひします。

断水のお知らせ

3月13日(土) 12:30~17:00
受水槽掃除のため断水となります。トイレの使用や手洗いができなくなります。そのため、部活動等は行わないようにしています。